令和８年度　臼杵市地域おこし協力隊募集要項

１．はじめに

「豊かな歴史と食で、地域とともに未来へ掬(むす)ぶ」、そんな臼杵市。

大分県の東南部、海に面した人口約３万３千人の臼杵市。おだやかな気候に恵まれたこのまちには、今なお 400 余年前の面影を残す石畳の城下町や、国宝・臼杵石仏をはじめとする豊かな歴史的遺産が息づいています。

また、完熟堆肥を使った「土づくり」からこだわった有機農業を推進しており、市独自の認証制度「ほんまもん農産物」は学校給食にも導入され、朝市「ひゃくすた」などを通じて生産者と生活者が食でつながる豊かな環境があります。

さらに、400 年以上続く味噌・醤油などの醸造文化や、人々に愛されてきた多彩な郷土料理など、歴史に裏打ちされた独自の食文化が根付いています。こうした自然・農業・歴史が一体となった食の営みが評価され、令和３年には「ユネスコ創造都市ネットワーク（食文化分野）」に認定されました。

そんな歴史と食の魅力があふれる臼杵市では、地域固有の資源を活かした新たな地域づくりの担い手として、平成 26 年度から「地域おこし協力隊」を導入しています。現在も隊員がそれぞれのミッションに挑戦し、地域のさらなる活性化を目指しています。

２．今回の募集内容について

今回は、以下の３項目について、各１名ずつ協力隊募集を行います。

募集１　のつてらす・グリーンツーリズム

～野津町から臼杵市の未来を照らす仕掛け人を募集～

募集２　中心市街地活性化及び八町大路火災復興業務募集

募集３　臼杵食文化創造都市の推進に関する業務募集

募集１：のつてらす・グリーンツーリズム

～野津町から臼杵市の未来を照らす仕掛け人を募集！～

① 「のつてらす」とグリーンツーリズムの沿革

臼杵市の山間部に位置する野津地域。ここに、かつて地域の学び舎だった旧野津高校を活用した、多世代交流館「のつてらす」が令和７年４月にオープンしています。
天候に左右されずに無料で子どもたちを安心して遊ばせられるスポットとして誕生したこの施設は、原則として土・日・祝日限定の開館でありながら、年間約５万人もの方々にご来場いただくスポットへと成長し、「かつて若者が集い、学んだ場所」が、時を経て「次の世代の笑顔が弾ける場所」へと生まれ変わっています。また、野津地域は、緑豊かで農業の盛んな地域で、民話「吉四六さん」の舞台、国内屈指の規模を誇る下藤キリシタン墓地、春には桜が咲き誇る吉四六ランド、そして臼杵が全国に誇る「ほんまもん野菜（完熟堆肥で育てた有機質の野菜)」など、魅力的な資源が多くあります。

そんな野津地域で 23 年もの間、農泊事業を行う「吉四六さん村グリーンツーリズム」という団体があります。市内の小学生の受け入れや、近年では海外からのインバウンド観光客を多数受け入れるなど、世界とつながるローカルツーリズムの拠点として実績を上げています。

② なぜ協力隊を必要としているのか

「のつてらす」が開設して２年目を迎える今、継続的な運営基盤と来場者を惹きつけ、地域から愛される施設へと育てていくことが求められています。「すでに年間４万人が集まる集客基盤があり、かつ、自由に変革できる広い空間」を、行政の枠組みにとらわれず、臼杵らしい地域の資源や素材を活かしながら、あなたの新しい発想や情熱をこの場所で叶えて頂きたいと考えています。

また、地域の高齢化、限界集落化やコミュニティの希薄化への対策が必要な一方で、グリーンツーリズムの展開において、地域の新しい形づくりへのアイデアや行動力が不足しており、地域おこし協力隊という外からの視点で、地域の伝統や想いを大切にしながら、先に繋がる地域づくりに取り組んでいただきたいと考えています。

③ 現状・課題

大分市など市外からのアクセスが良く、のつてらすは関係人口の創出に奏功しています。今後は、この市外からの来場者と、野津地域の豊かな自然や人、食をグラデーションのようにつなぎ、「何度も通いたくなるファン」を増やす仕掛けが必要ですが、「どう施設を活かすか」のアイデア不足、マンパワーが不足している現状です。

また、グリーンツーリズムに関しては、長年現場を支えてきた農泊家庭（会員）の高齢化が進み、海外からの宿泊者との調整業務や、パソコン・IT ツールを使った各種手続き、SNS

での発信といった「現代の観光ビジネスに必須なデジタルシフト」に苦慮しているのが現状です。

同時に、野津地域は少子高齢化や人口減少が進む、いわゆる「限界集落」も抱えています。これにより、お祭りや伝統芸能などの地域活動、さらには日々の助け合いといった「地域コミュニティの持続」そのものが困難になりつつあります。

④ 大きな目的（ミッション）

豊かな臼杵の素材を活かし、地域の高齢者と子どもたちの笑顔が交差し、野津地域全体がパッと明るく灯されるような、多世代循環型コミュニティ「のつてらす」へとプロデュースすることや、野津の豊かな農泊資源を活かしながら、多様な人々が支え合う仕組みと「持続可能なコミュニティ」をプロデュースすることを目的としています。

⑤ 活動計画

1 年目：地域と施設を知ること（インプット＆日常運営）

「のつてらす」のスタッフとして現場に立ちつつ、開館日以外には「吉四六さん村グリーンツーリズム」の業務サポートを通じて、農泊の運営基盤や仕組みを知っていただきます。来場者や地域住民の方々とコミュニケーションを深め、地域の輪に加わりながら、コミュニティが直面している課題への理解を深めます。どこにどんな可能性があるのか、自身の強みをどう活かせるのか、探して考えて頂く期間です。

2 年目：「想い」を仕掛ける（企画・立案＆実践）

1 年目で実際に感じた課題の解決や「こんなことをやってみたい」を形にします。あなたのスキルや強みを活かしながら、食、アート、スポーツ、音楽など、あなたの得意分野を掛け合わせたイベントを企画・実施していただきます。市役所職員やグリーンツーリズム運営側と定期的に相談しながら進めていきます。3 年目：2 年目の活動を維持・発展させながら、自立に向けた仕組み化をしていく

任期終了後の自立（起業）を見据え、「のつてらす」や「グリーンツーリズム」の運営等で得られたノウハウをビジネスとして展開させ、任務終了後のための基盤を作ります。新規事業の創出や事業継承などの立ち上げに向けた準備を進めていきます。これまで培った地域の信頼とネットワークをベースに、コミュニティの持続を支える自分の生業を作る準備を本格化させます。

【活動方針】

臼杵の地域や資源・素材への敬意を忘れず、しかし既存の常識には縛られない、自由でポジティブな挑戦をバックアップしていきます。

⑥ 具体的な活動や業務例、1 日の仕事例

【基本的な日常業務・勤務の仕方】

地域に密着した活動が主なため、原則として「のつてらす」が休館となる平日に企画・事務作業・PR 活動・地域コミュニティとのつながりづくり等を行い、地域住民の方々がこれまでに築き上げた歴史や想い、仕組みを尊重しながら、関係構築を心がけて頂きます。開館日（土日祝）には、現場でのスタッフ業務やイベント実施を行う勤務シフトを想定しています。

【1 日のスケジュール例（土曜・日曜・祝日の場合)】

* 09:00～ 出勤。「のつてらす」の開館準備（館内清掃、安全点検、受付準備）
* 10:00～ 開館。来場者の受付・案内、館内安全見守り、キッチンカー事業者等との調整
* 12:00～ お昼休憩（交代制）
* 13:00～ 館内業務、来場者へのヒアリング、SNS 用の写真・動画撮影
* 15:00～ スタッフミーティング（気づいた点や改善点の共有）
* 16:00～ 閉館作業（片付け・施錠)、日報作成
* 17:00　 退勤

※上記のことは 1 人で行うのではなく、すべてスタッフとともに行う想定です。

※また、全ての土・日・祝日に「のつてらす」に勤務するわけではありません。着任後しばらくはスタッフとともに勤務し、その後は状況に応じて「のつてらす」での勤務日数を調整します。

※平日の場合は、イベントの企画書作成、SNS 等の PR コンテンツ作成グリーンツーリズムの運営サポート、地域住民や地元事業者との打ち合わせ等が中心となります。

※土・日・祝日の「のつてらす」での業務と平日の業務を合わせて、週のうち 2 日間はお休みとします。

⑦ 任務期間中の所属先部署・サポート役

所属先部署：臼杵市役所　市民生活推進課（野津庁舎）

⑧ 任期終了後の想定について

・「のつてらす」の指定管理を受託する事業の立ち上げ・起業　等

任期後は、3 年間の活動で得た「地域の信頼」「運営ノウハウ」「独自のネットワーク」を活かし、農泊を中心に取り扱う旅行事業者や、のつてらすを活用し、地域コミュニティを支えるソーシャルビジネスでの起業などを想定しています。ただし、あくまでも事業計画段階での想定となりますので、活動の中で築いたつながりや実績などから様々な形が生まれるものと想定しています。

⑨ 確認事項

ここに表記した内容はあくまでも想定であり、実際の活動は定例報告会を行いながら、市役

所職員と報告・相談しながら進めていただく形となります。また、各年度の報告会及び状況に合わせて、任期後を見据えたロードマップの作成や修正を実施し、任期後に向けた準備や、周囲とのすり合わせ等を行っていきます。

募集２：中心市街地活性化及び八町大路火災復興業務

①業務についての沿革

臼杵市の中心市街地「八町大路（はっちょうおおじ）」は、石畳の舗装や電柱の地中化など、美しい景観に配慮された情緒あふれる商店街として、長年市民や観光客に愛されてきました。

しかし、令和 6 年 11 月、約 15 棟が全焼する痛ましい火災が発生し、商店街は大きな打撃を受けました。店主の高齢化や、商いと住まいが一体となった建物であった背景もあり、個々人での再建は非常に難しく、かつての賑わいを取り戻すためには地域と行政が一丸となって取り組むことが不可欠な現状です。

そこで臼杵市では、個人で再建を目指す方以外の土地を市が買い上げ、新たな中心市街地の拠点として再生させるため、現在、被災された方々や関係者とともに「八町大路火災復興連携会議」でその土地の活用方針について前向きな協議を重ねています。

②なぜ協力隊を必要としているのか

現在、「八町大路火災復興連携会議」を通じて被災跡地の活用や復興方針の協議が進められていますが、この方針を単なる計画で終わらせず、確実な「実行」へと移していくための推進力が求められています。

被災された方々や地元関係者など多様な関係者と連携しながら復興プロジェクトの進捗を専従で管理・牽引する人材が不可欠です。行政と地域の間に立ち、円滑なコミュニケーションを図りながらプロジェクトを前に進める役割を担っていただきたいと考えています。

さらに、私たちが目指しているのは火災前の状態に戻すことだけではありません。復興を足掛かりとして、八町大路の歴史ある景観や文化を活かし、その先の「中心市街地全体の活性化」へと繋げていく必要があります。

地域に寄り添いながらも、外からの客観的な視点や新しいアイデアを持ち込み、前例のない課題にも果敢に立ち向かっていける。そんな熱意と行動力を持った地域おこし協力隊を強く必要としています。

③大きなミッション

・復興方針に則り「社会実験」を行い、試行錯誤を行いながら復興の実現に向けた取組を事務局として担っていただきます。
・火災からの復興だけではなく、山積する中心市街地活性化に向けた取組みの推進役として様々な団体との調整やイベント実施の担当者を担っていただきます。

④活動の方針

・中心市街地にある臼杵市の施設「サーラ・デ・うすき」を拠点として勤務を行っていただ

きます。
・サーラ・デ・うすきでは、株式会社まちづくり臼杵が施設管理業務や中心市街地活性化に向けた業務を行っており、主に株式会社まちづくり臼杵と連携しながらミッションに取り組んでいただきます。
・株式会社まちづくり臼杵には、地域おこし協力隊ＯＢ（現在は地域プロジェクトマネジャーとして同社の統括部長）が在籍しており、チューターとして携わっていただきながら、「臼杵」というまちに馴染んでいただきます。

⑤３年間を通した活動のイメージ

臼杵市では、以下のような流れでの活動を想定しています。

１年目：
・八町大路火災からの復興や地域活性化の取組について、理解を深めながら業務にあたる。
・多岐にわたるステークホルダー（行政・地域・民間）との関係構築を目指す。

２年目：
・業務を進める中で、八町大路火災からの復興や地域活性化の取組について考えをまとめる。

３年目：
・協力隊任期終了後、本市において地域活性化の取組を仕事とする可能性について検討し、報告を行う。

⑥具体的な活動や業務例、１日の仕事例

８：３０～　出勤、サーラ・デ・うすきの開館準備
９：００～　サーラ・デ・うすき開館、接客や事務処理
１２：００～　休憩
１３：００～　午後の勤務（接客や事務処理に加えて、イベントの企画・準備ステークホルダーとの交流）
１７：００～　業務終了

⑦任期中の所属部署及び勤務場所

（所属部署）臼杵市産業観光課
（勤務場所）サーラ・デ・うすき（臼杵市大字臼杵２１０－３）

募集３：臼杵食文化創造都市の推進に関する業務

臼杵市は、2021 年にユネスコ創造都市ネットワークの食文化分野に加盟し、食文化を軸としたまちづくりを推進しています。この取り組みをさらに発展させるため、臼杵市の食文化について情報発信を強化し、市民の理解を深めるとともに、国内外にその魅力を広く発信していく必要があります。

今回募集する地域おこし協力隊の方には、最大 3 年間の任期を通じて、臼杵の食文化に関する知識、経験、技術を身につけていただきます。そして、これらのスキルを活かし、臼杵市の食文化を盛り上げる担い手として活躍していただくことを期待しています。

具体的には、臼杵食文化創造都市推進協議会の事務局員として、情報発信やイベント企画など様々な役割を担っていただきます。最終的には、この経験を基に、臼杵の食文化に関わる分野での起業や就業につなげていただくことを目指しています。具体的な例としては、以下を想定しています。

【任期中の業務のイメージについて】

○「臼杵食文化創造都市推進協議会」の事務局スタッフ業務

・協議会が行う推進事業の支援

・SNS 等を活用した PR 活動（季節ごとの旬の食材、地元飲食店の紹介など）

・イベントの企画・運営　等

～ 調理師免許をお持ちの場合 ～

・地元飲食店での調理に携わり、「臼杵の味」を習得　等

【任期終了後の活動のイメージについて】

・臼杵の食文化振興に関するイベントやプロモーション等の企画・運営を事業化

・飲食店やレストランの立ち上げ、既存飲食店の事業継承　等

（参考）

臼杵食文化創造都市推進協議会ホームページ

※https://gastronomy-usuki.com/

３．応募資格について

次の要件をすべて満たす方とします。

〇地域活動に意欲と情熱を持って参加し、地域住民とコミュニケーションを図れる方
〇臼杵市での定住にむけ、任期後の起業や就職等のビジョンを持ち活動できる方
〇満２０歳以上（令和８年４月１日現在）で、心身ともに健康な方
〇３大都市圏（※注１）と政令指定都市又は地方都市（※注２）の区域に在住の方
〇地域おこし協力隊員として採用後、臼杵市に住民票を異動させることが可能な方（※注３）
〇地方公務員法第１６条に規定する一般職員の欠格条項に該当しない方（※注４）
〇普通自動車免許の運転資格を持っている方
〇パソコン（ワード、エクセルなど）を利用して文書作成ができる方
〇インターネットや SNS 等を活用して情報発信ができる方
〇臼杵市との縁を感じられる方

（注１）埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県及び奈良県を指します。

（注２）全部または一部が過疎、山村、離島、半島等の地域に該当しない市町村のことです。

（注３）任用を受ける前に既に臼杵市に定住・定着している者（既に住民票の異動が行われている者等）については、原則として対象に含みません。

（注４）地方公務員法第１６条に規定する一般職員の欠格条項の詳細については、下記サイトを参照してください。

【e-gov 法令検索ページ】https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=325AC0000000261

４．勤務条件等について

・勤務時間は、原則週４日、３０時間の勤務とします。
・報酬月額は、１８０，０００円程度です。
・雇用形態は、臼杵市会計年度任用職員としての採用となります。
・雇用期間は、令和９年２月～令和１０年１月を想定していますが、受験者の状況に合わせる事も可能です（要相談）。なお雇用期間は毎年度更新し、最長３年間の雇用を予定しています。
・社会保険等（雇用保険、厚生年金、健康保険）に加入します。
・有給休暇制度があります。日数については、別途規定によります。
・住居は、原則として自身で探していただきます。（引越費用や各種家賃の補助があります）
・業務で使用するパソコン（庁舎内利用）・携帯電話は、市が貸与します。
・業務で使用する車両は公用車を使用していただきます。また「対人補償が無制限・対物補償が一千万円以上の任意保険」に加入済の自家用車を使用した場合は、活動時の燃料費を市が負担します。
（自家用車の所有は必須ではありませんが、公共交通が都市部ほど発達していない臼杵市においては自家用車の持込や、転入後の購入をおすすめしています）
・その他業務に必要なものについては、予算の範囲内で市が用意します。

5．応募手続について

・提出書類

臼杵市ホームページ（https://www.city.usuki.oita.jp/docs/2026111100055/）より
下記の提出書類①②をダウンロードし、内容を記入してください。

提出書類①　臼杵市地域おこし協力隊員　応募用紙
※必ず手書きで記入し、写真を貼付してください。

提出書類②　臼杵市地域おこし協力隊員　レポート用紙
※パソコン・タブレット端末などで作成して下さい。

・提出方法・・・郵送または、データ提出をお願いします

郵送提出先：
〒875-8501
大分県臼杵市大字臼杵７２番１
臼杵市役所地域力創生課　板井　宛

データ提出先：以下ページから提出して下さい
https://logoform.jp/f/m9LFH
二次元コードからも応募できます

・受付締切

郵送提出・データ提出のいずれも、令和８年１１月３０日（金）必着 とします。

6．選考の流れについて

応募受付後は以下の手順で選考を行い、それぞれの審査結果については文書で通知します。
なお選考内容についてはお答えできません。

第一次審査（書類審査）
提出していただいた書類をもとに随時選考を行い、結果をお知らせします。
合格者には第二次選考（面接）へと進んでいただきます。

↓

第二次審査（面接審査）
第二次選考は面接審査のため、臼杵市へお越しいただきます。
なお、その際の会場までの交通費等の経費の一部（片道分）を補助します。

↓

最終合格者の決定については、令和９年１月末を予定しています。

７．問い合わせ先について

今回の募集に関する問い合わせについて

募集の詳細に関する問い合わせ等は、以下のサイトから受付します。
（データ提出用のサイトとは異なりますのでご注意ください）

質問用サイトアドレス：
https://logoform.jp/f/5QI79

下の二次元バーコードからも
アクセスできます

その他の問い合わせについて

【問い合わせ先】

〒８７５－８５０１　大分県臼杵市大字臼杵７２番１
臼杵市役所　地域力創生課　地域共生グループ
担　当：板井・宮﨑
電　話：０９７２－７２－１０７９
ＦＡＸ：０９７２－６３－７７１３